

NOMA講師座談会

公務経験者と一緒に考える 公務員の「これから」



モデレーター

中本 正樹
(なかもと まさき)

Nakamasagas (なかまさがす) 代表
元 茨城県小美玉市職員



パネリスト

鈴木 克典
(すずき かつのり)

合同会社LOCUS BRIDGE
元 静岡県島田市職員



パネリスト

安富 由紀子
(やすとみ ゆきこ)

ウェルネスシフトジャパン 代表
元 行政保健師



パネリスト

椎名 英治
(しいな ひではる)

合同会社LOCUS BRIDGE
元 茨城県古河市職員

■座談会 テーマ1

「中堅職員がイキイキと働くために個人と組織でできること」

■座談会 テーマ2

「事前質問に対する公務経験者からのアドバイス」

公務を取り巻く環境変化は激しくなる一方で、組織内に目を向けると、離職やメンタル不調、採用の難しさ等によるマンパワー不足により、事業推進、職場内のフォロー、後輩指導等により中堅職員に大きな負荷がかかっている、職員満足度調査等において中堅職員のスコアが低いという声をよく聞きます。管理職候補者でもあり、職場においても主力として活躍が期待される階層をいかにエンゲージメントできるか、公務経験者による座談会を通じて取組に繋げるためのヒントを探ります。また参加者から質問を募り、解決に向けたアドバイスをを行う場とします。



令和7年3月6日(木)
14:30~16:30



オンライン (ZOOM)

※参加特典
アーカイブ配信をご視聴可能



Microsoft Formsよりお申込み(参加費: 無料)

<https://forms.office.com/r/NjUaQxzuHn>



登壇者のご紹介



モデレーター

中本 正樹
(なかもと まさき)

Nakamasagas (なかまさがす) 代表
元 茨城県小美玉市職員

住民参画型の文化センター「四季文化館みの〜れ」開館準備期間を含め、文化行政担当16年目。2000年建設省「対話型行政推進賞」、2009年財団法人地域創造「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞。町村合併後、旧隣町の文化ホール改革に着手し、14.7%の大ホール稼働率を70%台に改善。その後、政策企画部門で重要政策調整、職員提案制度改革、地方創生、シティプロモーション、広報紙改革を担当。「第1回全国ヨーグルトサミットin小美玉（2018年）」を住民との共創により企画運営。全国広報コンクール映像部門「小美玉ヨーグルトストーリー（2019年）」が特選・総務大臣賞、全国初の「シティプロモーションアワード」金賞（2022年）ほか受賞多数。現在は研修業務、シティプロモーション、広報等のアドバイザー・伴走業務、対話デザインに係る調査研究・出版・情報発信等に従事している。



パネリスト

鈴木 克典
(すずき かつのり)

合同会社LOCUS BRIDGE
元 静岡県島田市職員

民間会社勤務を経て、2004年に島田市に入庁。2006年から連続19年間、広報発行業務を担当。2016年と2020年に全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞。これまで特選3回を含めて入選11回、読売新聞社賞3回受賞。

「子どもの貧困」「終末期医療」「難病」「里親制度」「きょうだい児」など、取材対象者との深い信頼関係がなければできない特集を手がけてきた。これまで広報紙だけでなく、職員採用試験などのビジュアルデザインも担当し、手がけたポスターは第10回マニフェスト大賞コミュニケーション・ネット選挙戦略賞優秀賞を受賞した。(株)PR TIMES公認プレスリリースエバンジェリスト。



パネリスト

安富 由紀子
(やすとみ ゆきこ)

ウェルネスシフトジャパン 代表
元 行政保健師

病院・助産院・保育園・行政・企業等で、看護師・保健師として延べ1万人以上の人生に伴走。

個別相談では、心理学や認知科学、コミュニケーション学の学びを活かし、健康医療・介護にとどまらない、「家族関係構築」や「生きがい」「働きがい」などメンタルヘルスの向上に繋がる幅広い課題解決に対応してきた。

その経験から一人ひとりの幸せは、家族や会社の身近な人へ、さらに地域や社会全体へと「幸せの連鎖」を生み出していることを確信。

現在では「ウェルビーイング経営コンサルタント」として、個人と組織の幸せを育むコンサルティングを行う。研修ではメンタルヘルスや組織開発、女性活躍支援をテーマとした実践対話型が好評で、「明日から職場の雰囲気が変わる」コミュニケーションの習得を目指している。



パネリスト

椎名 英治
(しいな ひではる)

合同会社LOCUS BRIDGE
元 茨城県古河市職員

都市計画や区画整理、公園担当として用地買収や建物移転交渉などに携わる。交渉が難航している地権者と正面から向き合い信頼関係を築くことに注力した結果、多くの地権者が事業に対する理解し、移転、買収の契約に応じてくれたことで、事業を大幅に推進にすることができた。また、広報担当の際には広報紙のリニューアルを実施し、古河市としては初めての茨城県広報コンクールで特選、市HPにおいてもコンクールで特選を受賞。以降も市民参画を積極的に取り入れた景観まちづくり事業の「出城ノモリproject」立ち上げ等に従事。市民のやってみたくを実現させながら地域、行政課題の解決に貢献してきた。

現在は合同会社LOCUS BRIDGEにて、ふるさと納税やシティプロモーション業務に携わり、まちの魅力発信や市民共創のまちづくりに従事している。

■ご参加に際して

- ・ZOOM上のカメラ、マイクの設定は不要です。PC等の機材は、一人1台でも複数名で1台でもご参加可能です。
- ・事前質問への回答は任意です。質問なしでもご参加いただけます。
- ・アーカイブ配信は動画配信プラットフォーム「vimeo」にて行います。

■日本経営協会について

昭和24年（1949年）に「日本事務能率協会」として創立され、同年に通商産業省（現・経済産業省）から旧公益法人法に基づいて社団法人の認可を受けました。昭和46年（1971年）には名称を現在の「日本経営協会」に改称し、平成23年（2011年）4月に一般社団法人へ移行、2019年に創立70周年を迎え今日に至ります。創立以来一貫して、わが国経営の近代化と効率化のための啓発普及を活動の柱としており、「経営およびオフィス・マネジメント」の革新と社会資産の創出ならびに新しい価値創造の推進によって、わが国経済の発展と豊かな社会の実現に寄与することを本会の目的としています。